

会長方針

2000-01 年度会長 岩崎明弘

『意識を喚起し—進んで行動を』というフランクJ・デブリンRI会長のテーマを基本としながら、このテーマを、次のとおり当クラブの活動方針に置き換えて取り入れたいと思います。

1. ロータリーの原点について、会員の「意識を喚起」し、よりいっそう親睦を深め、楽しいクラブになるようにしたい。
ロータリーという文化現象を良質に発展・維持させて行くには、先ず基本を知らねばならないし、そのための勉強を一層深めたい。
2. 例会の在り方と委員会活動を充実したいと思います。
例会出席はロータリアンにとっては最も基本的な必要条件です。例会にはいつも目的意識を持って出席することが大切だと思います。
また、クラブの意思決定については、いきなり理事会で決定するよりも、会員に影響を及ぼす重要な事項については、会員や関連委員会の意見を聞くよう務め、会員が自分も北クラブの運営に参加しているという「意識を喚起」できるようにしたいと思います。
3. 良質なメンバーを増やす事は、クラブ活性化のエネルギーとなります。
会員増強と退会防止は重要な問題です。
ロータリーの基本と原点を理解し、会員が自信をもって新入会員を勧誘できるようになる必要があります、またそうなれば、退会防止にも役立つのではないかと思います。
4. ロータリーは親睦と奉仕の協調運動だと思います。
奉仕活動には無関心であってはなりません、奉仕活動には限度があり、奉仕活動を重視するあまり、負担になって親睦が壊れるようでは何にもなりません。
5. 奉仕活動については、会員各自か、或いは委員会活動を中心に、先ず身近なことから・できることから「進んで行動（実行）」したいと思います。